

議事（4） 医療・介護関係者の研修について

1 函館市第6期介護保険事業計画

在宅医療や介護の充実に向け、市内の医療機関や介護サービス事業者など、より多くの医療と介護の関係者に理解を深めてもらうため、研修会等を開催します。

2 在宅医療・介護連携推進事業の手引き

地域の医療・介護関係者の連携を実現するために、多職種でのグループワーク等の研修を行う。また、必要に応じて、地域の医療関係者に介護に関する研修会の開催、介護関係者に医療に関する研修会の開催等の研修を行う。

3 実施予定時期

- ・ 平成28年1～2月頃

4 北海道医療ソーシャルワーカー協会南支部の提案について

- ・ 提案書 ～ p. 2参照

論 点 提案について

医療・介護連携に関わる多職種を対象とした研修の実施提案について

一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部

1. 提案趣旨

平成27年度から各市町村において、在宅医療・介護連携推進に必要な取り組みの検討が本格化している。

函館市においても、本年度から医療・介護の各団体の代表者等で構成する函館市医療・介護連携推進協議会が設置され、鋭意、協議検討が進められている。

こうした医療・介護に携わる関係職種を取り巻く環境が大きく変化する中であって、関係職種の資質向上に加え連携の強化は、ますます求められている。

当協会としては、道南圏域において医療・介護連携の推進にあたり、先進的に検討を進めている函館市と連動する形での関係多職種を対象とした研修の実施を提案するとともに、今後、医療・介護関係団体の連携による研修実施体制のあり方を形づくる契機としてまいりたい。

2. 研修の目的

- ・医療・介護に携わる関係職種の相互理解と連携強化
- ・4局面における課題抽出と解決を目指す実践的な研修の企画・継続実施
- ・研修実施体制（例：関係団体の連携組織の確立など）のあり方の考察

3. 研修実施計画（案）

・初回は、4局面のうち患者・家族を中心に置いた「より良い退院支援」を目指し、諸課題を浮き彫りにするとともに、研修実施体制のあり方についても考察する。

よって初回の研修では、MSWや介護関係職の退院調整実務者を対象として、意見交換・課題抽出を図る。

・2回目以降は、研修実施体制を確立した上で、初回の研修での抽出課題をテーマとし、幅広い関係団体、関係職種参画のもと実践に即した研修を企画実施することが望ましいと考える。

4. 初回研修の日程・概要（案）

- ・日 時：平成28年1～2月頃
- ・開催テーマ：退院支援と研修実施体制のあり方を中心とする
- ・概要：基調講演、事例発表、グループワークなど